

「吸入指導未経験者に向けた吸入手技取得のための教育方法の効率化」

研究へのデータ利用についてのお知らせ

○ 研究の意義・目的

喘息および慢性閉塞性肺疾患（COPD）の治療において、患者の不適切な吸入手技は、治療効果とアドヒアランスを低下させる大きな要因となります。そのため、医療スタッフ対象の吸入指導勉強会が行われていますが、その実効性を検証した報告は少ないのが実情です。今回、薬剤師および薬学実習生を対象に、効率の良い吸入手技の取得方法を明らかにすることを目的に、本研究を計画しました。

○ 研究対象者

2014年4月1日から2015年12月20日までに、広島大学病院薬剤部に所属した薬剤師、および、広島大学病院薬剤部にて実務実習を受けた薬学実習生のうち、吸入指導教育を受けチェックシートによりスコア評価と教育に要する時間の測定を行った方。

○ 研究方法

本研究では、実習期間中に各種デバイスの吸入手技実習を行い、「吸入手技のスコア」および「手技取得に要した時間」を測定します。既に測定され薬剤部に保存されているデータも合わせて解析に使用します。データは、氏名などの個人情報を除いて匿名化した後、教育方法の違いによる教育効率について統計学的手法を用いて比較検討します。

○ 研究期間 2015年12月21日 ～ 2017年7月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。

お申し出いただいても今後の実習・評価等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5572

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 嶋田 江理嘉（研究担当者）